

拠出金名：第3回世界気候会議への拠出金

国際機関等名	世界気象機関 (英文名称・略称) World Meteorological Agency (WMO)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	気象庁総務部企画課国際室				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千スイスフラン)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成22年度	-	-	-	-	-
平成21年度	60,754	660	-	1スイスフラン = 92円	0
平成20年度	-	-	-	-	-
当該拠出金の目的・用途等	第3回世界気候会議の開催				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008年及び2009年の合計)				国際機関等の財政 (2010年度決算)(注2)	
	国名	金額 (千スイスフラン)	拠出率(注1) (%)	当該年度の収入 75.1百万スイスフラン	
1位	スイス	1,400	31.0	当該年度の支出 77.2百万スイスフラン	
2位	日本	660	14.6	次年度への繰越 -2.1百万スイスフラン	
3位	アメリカ	524	11.6	会計検査機関名	
4位	ドイツ	244	5.4	the National Audit Office of UK	
5位	欧州委員会	228	5.0		
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
世界気象機関(WMO)が推進している活動は、我が国を含む各国気象水文機関が行う防災・交通安全・産業の交流を支援する業務の円滑な運営には不可欠なものである。組織の合理化・機能強化に係るタスクチームが設置され様々な検討が行われており、我が国も積極的に関与している。歴代気象庁長官はWMOの執行理事に選出され、WMOの運営に参画し、我が国の意向を適切に反映している。					
邦人職員数 うち幹部以上	6人 うち1人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	約140人 4.3%		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名	備考		
開発・地区活動部 アジア・南西太平洋地域室長		戸矢 時義	元気象庁職員		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
機会をとらえ、気象庁長官及び在ジュネーブ国際機関日本政府代表部大使からWMO事務局長に対し、邦人職員のさらなる登用の要請を行っている。					

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(注2) 世界気象機関(WMO)の一般会計の収支を記載している。